土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　地方港湾　大竹港（小方地区）再編計画に係る調査業務委託

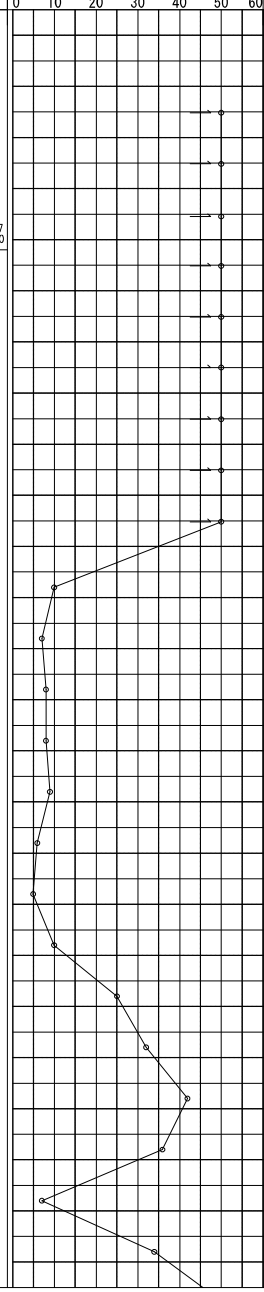
事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　港湾　構造物基礎

ボーリング名	No.9	調査位置	広島県大竹市小方一丁目地先	北緯	34° 14′ 08.5419″
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所	調査期間	令和5年10月30日～ 令和5年11月 8日	東経	132° 13′ 29.9027″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 3.15m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D-1型
総削孔長	41.00m								エンジン：ヤンマーディゼルNFD-10　ポンプ：東邦地下工機BG-3

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	2.95	0.20		コンクリート		淡灰			GL-1.50mまで試掘。 岸壁(道路)コンクリート。	
	2.45	0.70		砕石		淡灰			φ20～50mm程度の砕石、φ5～20mm程度の礫主体。	
1										
2				玉石		淡褐灰			φ80～100mm程度の玉石(花崗岩質)。	
3									GL-1.50m以深、φ100～200mm程度の玉石（非常に堅硬）が主体。	
4										11/7 4.70
5						～	rd5		GL-5.00m付近よりφ100～300mmの非常に硬質な玉石(花崗岩質)が連続する。	
6									maxφ400mm程度。	
7										
8						淡黄灰				
9										
10	-7.15	10.30								
11				礫質砂		淡黄褐灰	rd2		GL-11.50m付近までは、礫分の含有がやや多い。	
12									砂は中砂～粗砂が主体である。 細粒分の含有はほとんどない。	
13									5～10mm程度の亜角礫及び貝殻片、貝殻細片を混入する。	
14									含水多い。	
15									掘進中に部分的にボイリングをする。	
16										
17									GL-17.00m付近より以深、礫分の含有が多い。	
18	-14.55	17.70		礫混りシルト質砂		暗灰	rd3		細粒分の含有率が多い。砂は細砂主体でほぼ均一な粒径を呈する。貝殻片を多く混入する。	
	-15.15	18.30		礫混り砂		暗灰褐灰			細砂～粗砂が主体で、貝殻細片を少量混入する。上層より粒径は粗くなる。2～5mmの細礫を混入する。	
19	-15.75	18.90		砂礫		褐灰			全体に2～40mm程度の亜角礫を混入する。	
20									砂は細砂～粗砂と粒径幅は広く、中砂～粗砂が主体である。	
21						～				
22						黄褐灰			GL-20.90～21.20m間に砂質粘土(黄茶灰色)を挟在する。	
23	-19.85	23.00		礫混り砂		黄褐灰	rd2		φ2～5mm程度の礫、細砂～中砂を混入し、細粒分の含有が多い。	
	-20.55	23.70		砂礫		黄褐灰～暗灰			GL-24.50m付近までは、礫分の含有がやや少ない。	
24										
25										

標準貫入試験



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
50以上	2.00	50			50	30	
	2.03	30			30		
50以上	3.00	50			50	30	
	3.03	30			30		
50以上	4.04	50			50	10	
	4.05	10			10		
50以上	5.00	50			50	20	
	5.02	20			20		
50以上	6.00	50			50	20	
	6.02	20			20		
50以上	7.00	貫入不能			50	0	
					0		
50以上	8.00	50			50	20	
	8.02	20			20		
50以上	9.00	50			50	20	
	9.02	20			20		
50以上	10.00	50			50	30	
	10.03	30			30		
10	11.15	4	3	3	10		
	11.45				300		
7	12.15	2	3	2	7		
	12.45				300		
8	13.15	3	2	3	8		
	13.45				300		
8	14.15	2	3	3	8		
	14.45				300		
9	15.15	3	3	3	9		
	15.45				300		
6	16.15	2	2	2	6		
	16.45				300		
5	17.15	2	1	2	5		
	17.45				300		
10	18.15	2	4	4	10		
	18.45				300		
25	19.15	6	8	11	25		
	19.45				300		
32	20.15	10	10	12	32		
	20.45				300		
42	21.15	11	15	16	42		
	21.45				300		
36	22.15	13	11	12	36		
	22.45				300		
7	23.15	2	2	3	7		
	23.45				300		
34	24.15	12	11	11	34		
	24.45				300		

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
2.00	P-1	⊖		
2.03				
3.00	P-2	⊖		10/31
3.03				
4.04	P-3	⊖		
4.05				
5.00	P-4	⊖		11/1
5.02				
6.00	P-5	⊖		
6.02				
				11/2
8.00	P-6	⊖		
8.02				
9.00	P-7	⊖		11/3
9.02				
10.00	P-8	⊖		
10.03				
11.15	P-9	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度	
11.45				
12.15	P-10	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度	
12.45				
13.15	P-11	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度	
13.45				
14.15	P-12	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度	
14.45				
15.15	P-13	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度	
15.45				
16.15	P-14	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度	
16.45				
17.15	P-15	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度	
17.45				
18.15	P-16	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度	
18.45	P-16-2	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度	
19.15	P-17	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度	
19.45				
20.15	P-18	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度	
20.45				
21.15	P-19	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	11/6
21.45				
22.15	P-20	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
22.45				
23.15	P-21	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
23.45				
24.15	P-22	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
24.45				

| | | |